

社会福祉法人まりも会

清瀬療護園

広報紙

ほのぼの通信

第89号

〒204-0023 東京都

清瀬市竹丘3-1-72

清瀬療護園

TEL: 042-493-3235

Fax: 042-493-3234

発行

地域福祉委員会
(広報部門)

節目の年を迎えて

清瀬療護園 施設長 浅野 穂高

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は清瀬療護園の運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。清瀬療護園施設長として4回目の新年を迎えるに至り、これも一重にご利用者、ご利用者ご家族の皆様、職員、地域の関係各機関のお力添えのおかげと重ねて感謝申し上げます。令和7年を振り返りますと、我が国初の女性首相の誕生、世界陸上での日本選手の躍動、大谷選手、山本選手、佐々木選手擁するドジャースのワールドシリーズ連覇、大阪・関



西万博の盛況など明るくニューイースがありました。一方で記録的な猛暑が長い期間にわたって続き、「令和の米騒動」と呼ばれる現象の要因ともなりました。とりわけ戦後復興と高度経済成長期の日本の象徴である「ミスタープロ野球」長嶋茂雄氏の訃報は、一つの時代の終焉を感じさせました。施設内の出来事に目を向けると、かねてから標榜している「地域と交わる施設づくり」の具現化に向けて、確かな手応えを感じた一年となりました。ご利用者が単独で、又は職員を伴い外出していく様子が日常的となり、「Cafe ほのぼの（ほのぼの喫茶）」を「地域と施設をつなぐステーション」と位置づけ、シェアキッチン（間貸し営業）による新たな集客や料理教室の開

催、子育て世代の方々でも気軽に利用できるように間取りの工夫を行う等して、施設と地域がまじりあう空間を創出しました。正面玄関横にある多目的室では毎日のように地域の子供たちが遊び、学習し、帰る際には「ありがとうございまして」と元氣よく帰っていきの様子に目を細める機会も多くなりました。地域と施設の境界線が良い意味で曖昧になり、気軽に来園できる雰囲気醸成されつつあります。そして何より、令和7年の最大のトピックスとして、清瀬喜望園、カーサマリモと合同開催した「まりもタウンフェスティバル」の成功を挙げないわけにはいきません。「ご利用者と地域の出会いからの新たな交流を生み出す」コンセプトのもと、各施設職員で編成した実行委員会を中心として、日々のご利用者支援の合間に準備を推し進め、また、キョセドプランニング様の

多大なる協力もあり、約300人の方々が集まる盛況となりました。途中、強風の影響によるアクシデントもありましたが、ご利用者、ご家族が地域住民の方々や職員バンドの演奏を通じて笑顔で交流する様子を目の当たりにし、お祭りがもたらす有形無形の意義をその一体感の中に感じることができました。ご利用者支援については、新たに「支援のあり方検討会」が発足し、職員が主体となり「ご利用者第一義」の支援のあり方について定期的な議論が進められています。法人理念に込められた思い「人を大事にし、人とつながり、その人らしく生きる」を判断の基本とし、施設、ひいては法人全体の支援のあり方の標準化に向けて、本検討会の取り組みを強化していきます。



まりも神社で参拝！今年もよい年になりますように！



今年も活動室に、職員お手製の「まりも神社」が登場しました！

為の力に変えて、引き続き職責を果たしていく所存です。末筆ながら、皆様のより一層のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

地域と歩む

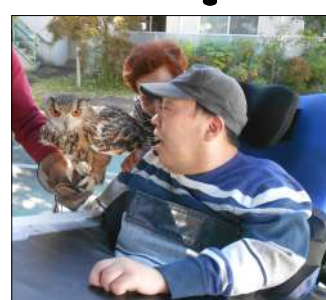
まりもタウンフェスティバル開催！

11月3日（月・祝）、「10年先・20年先も地域とともに」をテーマに、清瀬療護園・希望園の敷地内にて「まりもタウンフェスティバル」を開催いたしました。

当日は渋谷桂司清瀬市長もお祝いに駆けつけてくださり、お笑いコンビ「ぶくら旋風」さんの軽妙な司会で、イベントは賑やかに進行しました。

屋外ステージでは中学生による吹奏楽や迫力の和太鼓、優雅なフラダンスが披露され、まりもホール内でもキレのあるダンスや落語、パワフルな歌声が会場を熱狂させました。また、会場内には焼き鳥や十勝豚井などのキッチンカー、30店舗に及ぶマルシェが並び、移動動物園も登場。多くの方々と賑わう一日となりました。ご来場いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。来年は開所50周年という大きな節目を迎えます。皆様にさらに楽しんでいただけるよう、より一層充実した企画を準備してまいります。

渋谷清瀬市長と一緒に



会場全体が活気にあふれ、利用者の皆さんも思い思いの時間を過ごされていました



まさお日記

まりもタウンフェスティバル
満喫記

まりもホールで次々と披露される芸に、思わず笑いがこぼれた。特に桂蝶の治の落語「弥次郎」は圧巻で、一瞬、寄席の「末広亭」にいるかのような錯覚におちいった。「毎日がこんなに楽しければ」と、幸福感に包まれるひとときだった。祭りの醍醐味、屋台巡りも外せない。活気あふれるキッチンカーの列を抜け、ようやく手にした「焼き鳥2本」の味も格別だった。来年も楽しみにしている！

（清瀬療護園 利用者）



フラダンスの素敵なステージショー

ユニット企画

羽村市動物公園へ

10月16日、秋晴れの中、羽村市動物公園を訪れました。

今回の目玉は、間近で観察できる大型動物たち。特にキリンのダイナミックな姿には驚きの声が上がりました。

一方で、ニホンザルやヤギの愛嬌のある動きや、ペンギン、レッサーパンダなどの愛らしい姿も楽しんできました。

通所企画

秋の遠足に行ってきました！

10月23日、立川市の「ららぽーと立川立飛」へ遠足に出かけました。

到着後、まずはみんなで集合写真を撮り！お楽しみのお昼ごはんは、フードコートでステーキ丼やチャーハン（どちらも大盛り！）、チャージューメン、月見天ぷらうどんなど、思い思いのメニューを選び、専門店の本格的な味を楽しみました。

午後は広い館内をゆっくりと巡り、お買い物や散策を満喫。「まだ行きたい」という声が聞かれるなど、笑顔あふれる楽しい一日となりました。



「何を食べようかな？」フードコート前で記念撮影！



「首が長いね！」キリンの前で

ハッピーハロウィン！

仮装とお菓子を楽しむ

10月29日（水）、恒例のハロウィンパーティーを行いました。仮装した利用者さんと職員が交流し、おやつにはクリームたつぷりの手作りホットケーキが振る舞われました。ユニットでのお菓子づくりも取りや、通所のお菓子バイキングも大盛り上がり！賑やかなパーティーとなりました。



2025年 ハロウィンパーティ！みんな集まって～！

フルーツと歌の調べ

11月6日（木）、マリポーピンスの皆様をお迎えし、フルーツと歌の演奏会を開催しました。『赤とんぼ』や『里の秋』などの懐かしい歌声に、皆さんは子供時代を思い出しながら聴き入っていました。フルーツによる『愛の讃歌』の優雅な演奏もあり、音楽の素晴らしさを堪能する、心豊かな秋の一日となりました。



フルーツの音色と歌声にうっとり聴き入る皆様



通所では、お菓子バイキングを開催！



圧巻のパフォーマンスに大興奮！ 木下大サーカス観賞ツアー！

ユニット企画

11月から12月にかけて、ユニット企画として立川市で開催中の『木下大サーカス』を観賞してきました。計4回にわたるツアーには、多くの利用者が参加されました。象や虎のショー、空中ブランコなどの大迫力な演技を堪能した後、ファミリーストラップでの食事もしみ、心もお腹も



サーカス観覧記念！会場の大きな TENT をバックに

いくの日記

サーカス見たよ！

11月18日の火曜日、園の人たちと立川の「木下大サーカス」へ行きました。会場では前方の車椅子席に案内されたから、間近でショーが見れました。空中ブランコにハラハラして、ピエロの芸には大笑いしましたが、大きな虎が出てきたときは怖くて大泣き



(清瀬療護園 利用者)

してしまいました。バイクの球体走行や象の登場など、どれも迫力満点でした。サーカスは人生で3回目、久しぶりに素敵な思い出が、また一つ増えました。

ボッチャ大会開催

12月17日、東京都の「障害児・者の運動習慣定着支援事業」の一環として「清瀬療護園杯ボッチャ大会」を開催しました。13名の参加者が4チームに分かれ、特製の「的」を狙うアレンジルールで激突！力強い投球や緻密な一投に会場は大盛り上がり。ボランティアの方々に見守られながら、スポーツの秋（冬）らしい白熱した試合を楽しみ、心地よい汗を流しました。



白熱したボッチャ大会！まりもホールにて

驚きの連続！ クリスマス会

12月24日（水）、恒例のクリスマス行事として「マジックショー」と「くじ引き」を楽しみました。

マジックショーでは、近隣のマジックサークルから3名の皆様をお招きし、鮮やかな手品の数々を披露していただきました。何もないところからステッキやお花が次々と現れたり、お札がどんどん増えたりと、目の前で起こる不思議な光景に会場は釘付け！驚



魔法のような手品に釘付けの皆さん

きと大きな拍手に包まれ、大盛り上がりとなりました。



編集後記

あけましておめでとございます！今年もイベントを中心に、清瀬療護園の魅力をたっぷりお届けします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。（須永）



炊き出し訓練を実施しました
11月26日、園のプロパンガスと大鍋を使用し、数年ぶりに炊き出し訓練を行いました。レトルト食品の湯煎手順などを確認し、災害時に備えた実践的な訓練となりました。